

流行性角結膜炎(はやり目)が急増!



県内の患者数

	今週	前週		今週	前週
インフルエンザ	↓ 1	4	百日咳	↑ 1	0
RSウイルス感染症	↑ 9	5	ヘルパンギーナ	↓ 105	150
咽頭結膜熱	↑ 9	8	流行性耳下腺炎(おたふくかぜ)	↑ 35	26
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	↓ 52	64	急性出血性結膜炎	→ 0	0
感染性胃腸炎	↓ 281	287	流行性角結膜炎(はやり目)	↑ 52	50
水痘	↓ 10	15	細菌性髄膜炎	→ 0	0
手足口病	↓ 203	327	無菌性髄膜炎	↓ 0	3
伝染性紅斑(りんご病)	↑ 30	25	マイコプラズマ肺炎	↓ 5	7
突発性発しん	↑ 45	43	クラミジア肺炎	→ 0	0
			感染性胃腸炎(ロタウイルス)	→ 0	0

報告が多い感染症

- 感染性胃腸炎
- 手足口病
- ヘルパンギーナ

大きな流行が発生又は継続しつつある地域

感染性胃腸炎 : 菊池
 手足口病 : 菊池、山鹿、熊本市、天草、有明、八代、宇城、水俣

伝染性紅斑 : 人吉
 ヘルパンギーナ : 天草、菊池、宇城
 流行性耳下腺炎 : 人吉
 流行性角結膜炎 : 熊本市

◆◆◆保健所別発生状況(インフルエンザ・小児科・眼科・基幹定点)◆◆◆

保健所名	インフルエンザ	RSウイルス感染症	咽頭結膜熱	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	感染性胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性紅斑	突発性発しん	百日咳	ヘルパンギーナ	流行性耳下腺炎	急性出血性結膜炎	流行性角結膜炎	細菌性髄膜炎	無菌性髄膜炎	マイコプラズマ肺炎	クラミジア肺炎	感染性胃腸炎(ロタウイルス)	
熊本市保健所		2	3	27	70	2	80	2	9		29	8		44					4	
山鹿保健所				1	11		13	1	2				*	*						
菊池保健所		1	2	11	80		49	3	13		22	3		5						
阿蘇保健所				3	2								*	*						
御船保健所					14		1				1		*	*						
八代保健所					31	1	11	3	5	1	2			1						
水俣保健所			1				4	1	3		7		*	*						
人吉保健所				2	8	1	2	11	7		4	13	*	*						
有明保健所		2	1		36	1	18	3	2		13	10		2				1		
宇城保健所		2	2	7	24	1	10	2	2		9	1	*	*						
天草保健所	1	2		1	5	4	15	4	2		18									
計	1	9	9	52	281	10	203	30	45	1	105	35	0	52	0	0		5	0	0

◆◆◆年齢別発生状況(インフルエンザ・小児科・眼科・基幹定点)◆◆◆

インフルエンザ定点	合計	0~5カ月	6~11カ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10~14	15~19	20~29	30~39	40~49	50~59	60~69	70~79	80歳以上	
インフルエンザ	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	
小児科定点年齢	合計	0~5カ月	6~11カ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10~14	15~19	20歳以上							
RSウイルス感染症	9	2	2	3	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0							
咽頭結膜熱	9	0	0	2	0	2	3	1	1	0	0	0	0	0	0							
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	52	0	0	1	2	4	7	7	5	6	2	8	6	0	4							
感染性胃腸炎	281	4	31	52	40	27	27	20	18	9	5	11	16	0	21							
水痘	10	0	3	1	0	0	1	4	0	0	0	0	0	0	1							
手足口病	203	5	23	67	48	32	9	5	6	1	0	1	1	0	5							
伝染性紅斑	30	0	1	3	4	4	4	6	2	1	1	1	3	0	0							
突発性発しん	45	1	26	15	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0							
百日咳	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0							
ヘルパンギーナ	105	2	12	40	19	17	3	6	3	0	1	1	0	0	1							
流行性耳下腺炎	35	0	0	0	3	4	10	5	4	4	1	0	4	0	0							
眼科定点年齢区分	合計	0~5カ月	6~11カ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10~14	15~19	20~29	30~39	40~49	50~59	60~69	70歳以上		
急性出血性結膜炎	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
流行性角結膜炎	52	0	3	2	3	0	5	5	2	1	0	0	1	1	11	5	4	1	4	4		
基幹定点年齢区分	合計	0歳	1~4	5~9	10~14	15~19	20~24	25~29	30~34	35~39	40~44	45~49	50~54	55~59	60~64	65~69	70歳以上					
細菌性髄膜炎	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0					
無菌性髄膜炎	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0					
マイコプラズマ肺炎	5	0	2	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0					
クラミジア肺炎	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0					
感染性胃腸炎(ロタウイルス)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0					

今週の報告数は52件で、7/6~7/12の週以降急増しています。保健所別では、熊本市が警報レベルを超えている他、前週の一定点当たりの患者報告数は全国より6倍多い報告数でした。

流行性角結膜炎(はやり目)が急増しています

流行性角結膜炎は、夏を中心に発生が多く、年齢では1~5歳を中心とする小児に多いが、成人も含み、幅広い年齢層にみられます。白目の部分が赤くなる、涙が多く出る、目やにが出る、まぶたが腫れる、などの症状が出ます。

両目に症状が出る場合が多いのですが、片方だけのこともあります。ある特定の型のアデノウイルスに感染することが原因で、ウイルスのついた手で目を触ることで感染(接触感染)することが多いので、予防には手洗いが有効です。

感染力が強く、感染した人の使用したティッシュペーパー、タオル、洗面器等からウイルスが広がります。赤ちゃんや小さなお子さんなどでは、重症化することがあります。症状の見られる場合には、早めに医療機関を受診しましょう。

